

LIXIL

高効率熱交換換気システム エコエア90

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	2
■ 特にご注意ください	2~3
警告	2
注意	3
お願い	3
■ 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	4
■ 各部の名称とはたらき	5
■ 操作方法	7
■ お手入れのしかた	9
■ 故障時の処置	12
■ アフターメンテナンスについて	13
■ 保証書	14

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

「エコエア90」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

もし、この取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「エコエア90」のご使用および、お手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
3. 商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎0120-413-433
フィルターの購入はこちら	LIXILパーツショップ または お客さま相談センター	ホームページ https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/ ☎0120-126-001

警告用語の種類と意味

※この章では、「エコエア90」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意 味
 警 告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
 注 意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特にご注意していただきたいこと

（安全のため、必ずお守りください）

警 告

制御付換気ユニットに関して

- 絶対に分解修理・改造を行わないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
- ※修理のご依頼は「当社修理受付センター」に、
商品に関するお問合せは「当社お客さま相談センター」へご相談ください。
- 直接水やお湯、洗剤などをかけたりしないでください。
感電やショートするおそれがあります。
- お手入れは、制御付換気ユニットの壁スイッチまたは分電盤のブレーカーにより、
運転を停止してから行ってください。
※壁スイッチまたはブレーカーの操作はぬれた手で行わないでください。感電やケガをするおそれがあります。
- 電源線を破損させるようなことはしないでください。
傷んだまま使用すると感電、ショート、火災の原因になります。
- 電源線を引っばらないでください。
電源線が接続不良になると火災の原因になります。

⚠ 警 告

壁スイッチに関して

- 汚れた場合はやわらかい乾いた布でふき取り、直接水やお湯、洗剤などをかけたりしないでください。感電やショートするおそれがあります。
- お手入れは、制御付換気ユニットの壁スイッチまたは分電盤のブレーカーにより、運転を停止してから行ってください。
- ※壁スイッチまたはブレーカーの操作はぬれた手で行わないでください。感電やケガをするおそれがあります。

給排気レジスターに関して

- 直接水やお湯、洗剤などをかけたりしないでください。変形・故障が発生のおそれがあります。
- お手入れは、制御付き換気ユニットの壁スイッチまたは分電盤のブレーカーにより、運転を停止してから行ってください。

⚠ 注 意

制御付換気ユニットに関して

- 運転中は羽根の中に指や物を入れないでください。ケガをするおそれがあります。
- お手入れの際は、足元が不安定な台に乗らないでください。転倒などによりケガをするおそれがあります。
- お手入れの際は、ゴム手袋をお使いください。突起や角などによりケガをするおそれがあります。
- お手入れ後、部品は元どおりに取付けてください。落下によりケガをするおそれがあります。
- お手入れ後は、すみやかに運転を再開してください。
- ※ 365 日・24 時間運転が原則です。
停止したままだと、室内の空気の汚れや結露の原因になります。
- 制御付換気ユニット内のフィルターなどは定期的にお手入れを行ってください。お手入れをおこたると、室内の空気の汚れや結露の原因になります。
- 制御付換気ユニット内のフィルター枠を引き出すとき、ホコリや虫などが落下することがありますので、目などに入らないよう注意してください。
- 長時間使用しないときは、壁スイッチまたは分電盤のブレーカーで運転を停止してください。漏電や火災のおそれがあります。

給排気レジスターに関して

- 給排気レジスターの内部に物を入れないでください。故障をするおそれがあります。
- お手入れの際は、足元が不安定な台に乗らないでください。転倒などによりケガをするおそれがあります。
- お手入れの際は、ゴム手袋をお使いください。突起や角などによりケガをするおそれがあります。
- お手入れ後、部品は元どおりに取り付けてください。落下によりケガをしたり、室内の換気が計画通りにできなくなるおそれがあります。
- お手入れ後は、すみやかに運転を再開してください。
- ※ 365 日・24 時間運転が原則です。
停止したままだと、室内の空気の汚れや結露の原因になります。

お願い

製品に関して

- 製品に異常があれば使用を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。
- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。

制御付換気ユニットに関して

- 雷が発生したときは、分電盤のブレーカーを切ることをおすすめします。機械が故障するおそれがあります。
- 床下設置・床置設置の場合、お手入れの際に制御付換気ユニット本体の上に乗る、手をかけるなど、体重がかからないよう注意してください。制御付換気ユニットの故障につながるおそれがあります。

システム全般に関して

- 暖房は全館で行ってください。
局所暖房の場合、暖気が空気の冷たい部屋に入り結露の原因になります。
- 製品を安全にご使用いただくため、給排気フードにガタつきや歪みがないか、温度ヒューズが切れて防火ダンパーが閉まっていないか（防火ダンパー付の場合）などを定期的に点検してください。

壁スイッチに関して

- シンナー、アルカリ性洗剤、クレンザー、殺虫剤などは使用しないでください。故障や変形・変色の原因となります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】15年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、

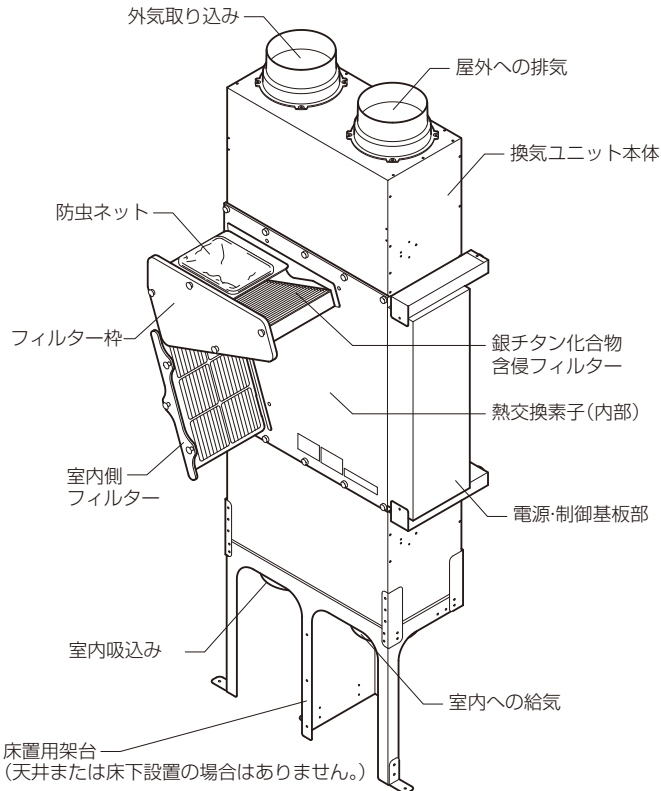
- 経年劣化とは、長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本電機工業会自主基準 HD-116-4による

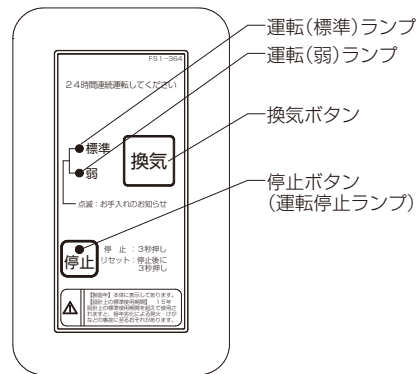
環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは/および60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の工事説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	常時換気 (24時間連続換気)8760時間/年	

各部の名称とはたらき

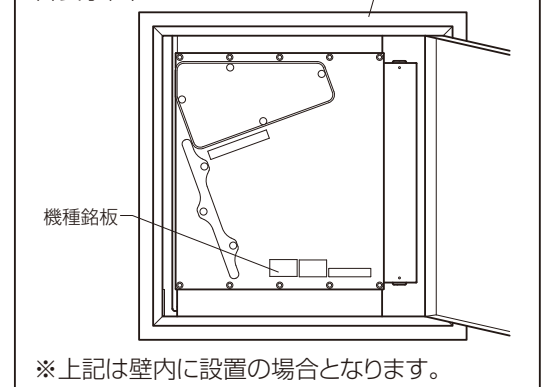
制御付換気ユニット



【壁スイッチ】



各表示位置



※上記は床設置の場合となります。
※各出入口はダクトホースに接続されています。

【外気取込み口】

- 新鮮な空気をここから吸気します。

【室内への給気口】

- 吸気した外気を熱交換して室内温度・湿度に近づけた状態で、ここから給気します。

【室内吸込み口】

- 室内の汚れた空気をここから取込みます。

【屋外への排気口】

- 室内の汚れた空気をここから排気します。

【熱交換素子】

- 排気する室内空気の熱エネルギーをここで回収し、室内へ供給する空気に熱エネルギーを与えます。

【銀チタン化合物含侵フィルター】

- 取込む外気に含まれる目に見えない粉塵、花粉、微小粒子をこのフィルターで除去し、きれいな空気にします。さらに、抗菌・抗ウィルス・抗アレルギー性を備えています。

【防虫ネット】

- 取込む外気に含まれる目に見えるチリやホコリ、虫などを捕集するネットです。

【RAフィルター（室内側フィルター）】

- 室内の空気に含まれるチリやホコリを除去し、機械内部を保護します。

【電源・制御基板部】

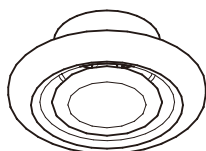
- 運転に必要な電気を供給し、ファンの円滑な回転を制御する部分です。

【壁スイッチ】

- 弱運転への切り替えと、運転の停止・再開を行えるスイッチとなります。また、ランプの点灯で、フィルターなどのお手入れのお知らせ時期や本体の異常などをお知らせします。

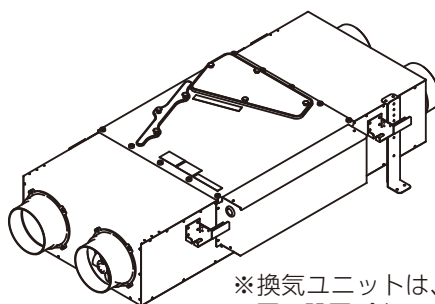
給気レジスター

- 屋外の新鮮な空気を換気ユニット内で室内の温湿度に近づけた後、ダクトを通してリビングなどの居室に供給します。各所の必要な給気量をバランスよくはかるため、絞り調整がされています。このため、お客さまの手によって調整はしないでください。



制御付換気ユニット

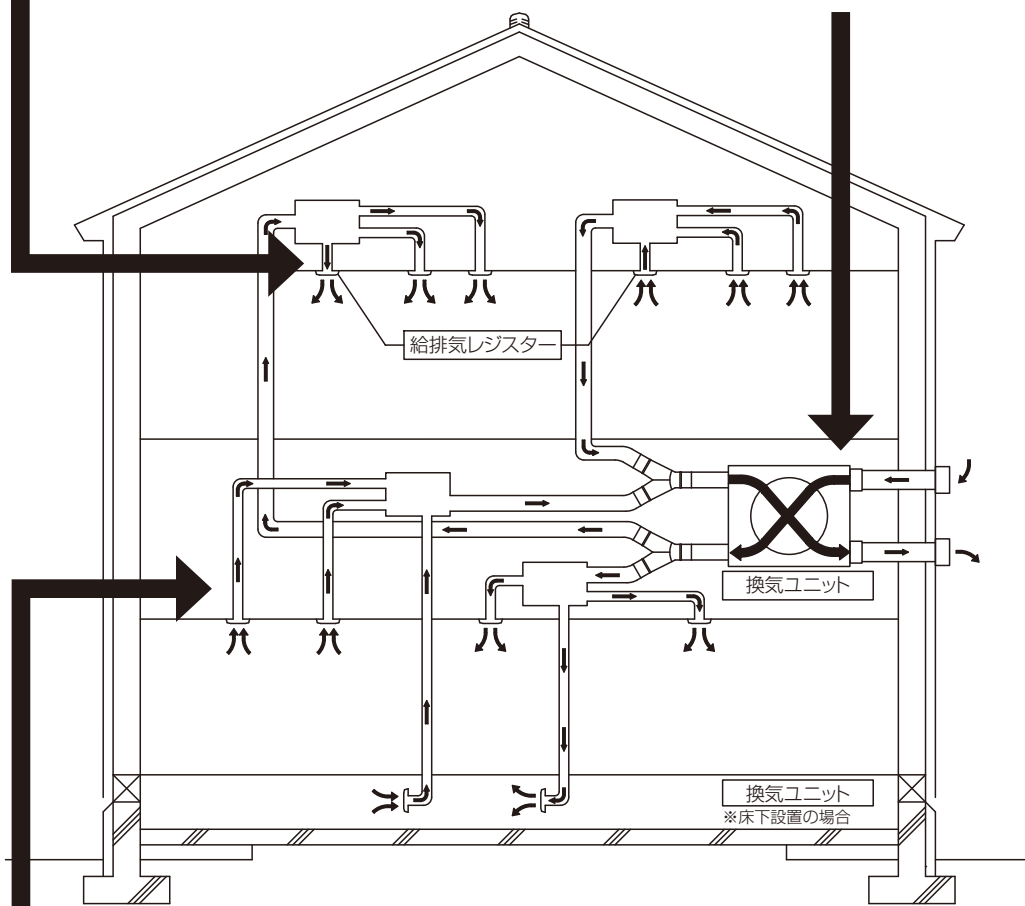
- 室内の汚れた空気を集約し室外に排出する際に、排気に含まれる熱や水分（湿度）を回収し、室内に供給する新鮮な空気（外気）に移します。外気に含まれる粉塵、花粉などを除去する防虫ネット・銀チタン化合物フィルターと室内の空気に含まれるチリやホコリを除去し、機械内部を保護する室内側フィルターが設置されています。
- 機器の過冷却防止のため、外気温 -10℃以下のとき給気（室内に入る空気）を最小風量になるように制御します。外気温が -10℃を上回れば通常運転に戻ります。
- 排気（屋外へ排出する空気）は外気温に関係なく通常運転します。



〔壁スイッチ〕

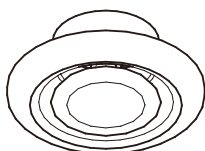


※換気ユニットは、天井設置・床下設置・床置設置の設置パターンがあります。



排気レジスター

- ※給気レジスターと同じもの。
- 室内の汚れた空気をトイレやキッチンなどからダクトを通して排出させます。各所の必要な排気量をバランスよくはかるため、絞り調整がされています。このため、お客さまの手によって調整はしないでください。



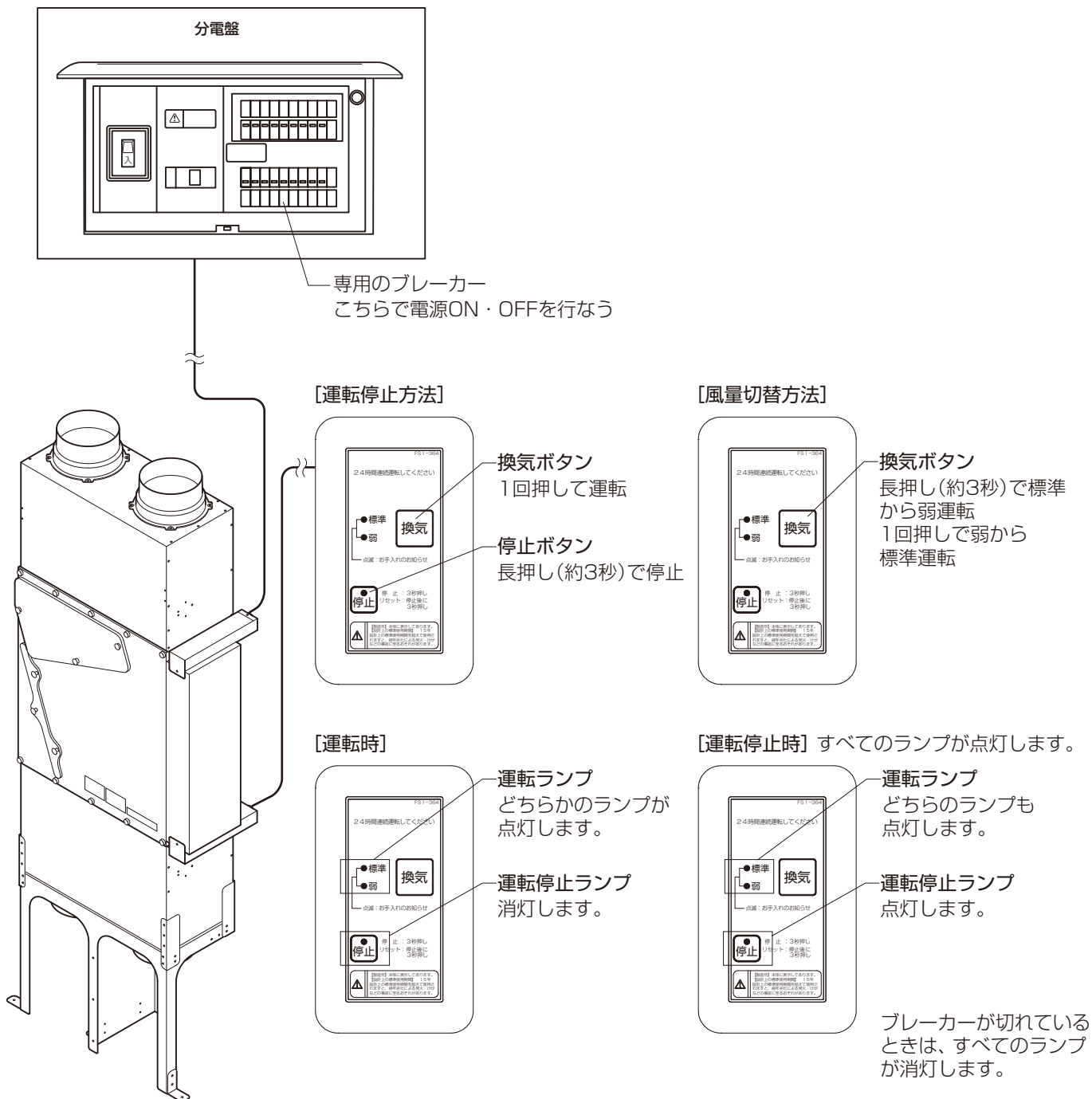
※カタログなどで記載されている「温度交換効率：90%」という表示は、本ユニットの試験成績（[50 m³/h 時] 91%～[206m³/h 時] 81%）によるものです。（JIS B 8628 に準拠）

操作方法

※本製品は 365 日・24 時間運転が原則です。室内に新鮮な空気を供給するとともに、汚れた空気を屋外に排出するため、常に運転するようにしてください。

運転のしかた

- 運転を始めるには、専用のブレーカーと壁スイッチの両方を ON の状態にしてください。
(※制御付換気ユニット自体には、電源の ON・OFF スwitchはありません。)
…給気レジスターから空気が静かに出ます。
- 運転を停止するには、専用のブレーカーまたは壁スイッチを OFF の状態にしてください。
…給気レジスターから空気が出なくなります。



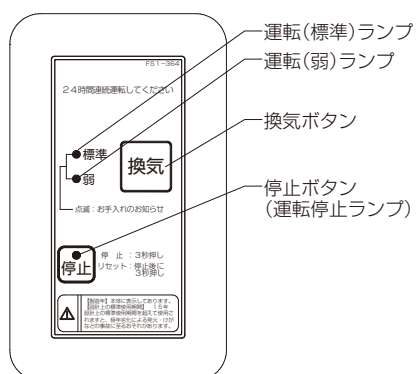
※ブレーカーを入れているのに運転が停止している場合は、本体の故障・寿命が考えられます。その場合は、本説明書の『故障時の処置』にしたがってください。(特に激しい雷があった後は、運転音が出ているかどうかを必ず確認してください。)

壁スイッチの操作方法

- 壁スイッチのON/OFFで制御付換気ユニットの運転・停止が可能です。
- 運転ランプの点滅は、フィルターなどの清掃のお知らせです。
停止ボタンを長押し（約3秒）して運転を停止させてから、フィルターを清掃してください。
- フィルターなどの清掃後は、運転が停止している状態で停止ボタンを長押し（約3秒）することで清掃期間がリセットされます。その後、換気ボタンを押すことで運転が再開され、新たに60日間（2ヶ月）のカウントがはじまります。
- フィルターなどの清掃のお知らせ時期は、60日（2ヶ月）に設定されており、変更はできません。

●各状態時の壁スイッチの表示

[壁スイッチ]

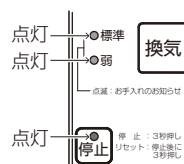


- ：点灯
- ⦿：点滅
- ：消灯

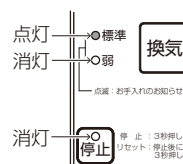
通常運転状態の表示

1) 通常運転時の表示

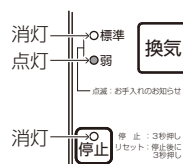
ユニット状態 停止



ユニット状態 標準運転

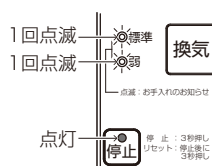


ユニット状態 弱運転

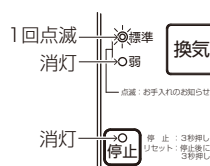


2) メンテナンスの表示

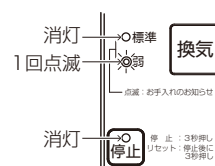
ユニット状態 停止



ユニット状態 標準運転



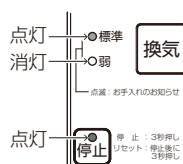
ユニット状態 弱運転



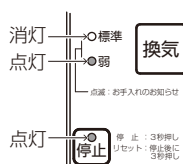
異常状態の表示

3) 防火ダンパー閉塞またはフィルター・防虫ネットによる目詰まり検知（※）プロペラセンサ異常 の表示

ユニット状態 標準運転



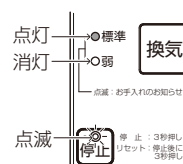
ユニット状態 弱運転



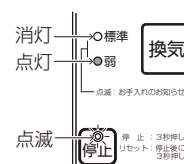
- ※寒冷地制御運転時（外気温が-10℃以下の時）は検知機能は停止致します。
- ※防火ダンパー閉塞は防火ダンパー付フードをご使用の場合のみとなります。

4) その他本体異常時の表示

ユニット状態 標準運転



ユニット状態 弱運転

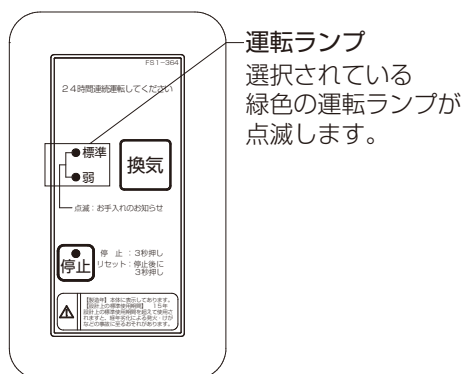


- 停止ボタンLEDランプ
- 1回点滅：モーター回転数異常による停止
 - 2回点滅：温度センサー異常
 - 3回点滅：モーター過負荷保護による停止
 - 4回点滅：電源電圧異常による停止

お手入れのしかた

- フィルターなどのお手入れは、2 ヶ月に 1 度を目安に行ってください。
ただし、住み始めて 2 ヶ月間は、2 週間に 1 回の清掃を行ってください。
銀チタン化合物含浸フィルターの交換は、2 年を目安に新しいフィルターと交換してください。
防虫ネットと室内側フィルターは破れるまで使用できるので、交換目安はありません。
- ※ 交換用のフィルターの仕様は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
(交換用のフィルターなどに同梱されている手順書に従い、お手入れをしてください。)
- 給排気レジスター (LIXIL 製の場合) について、汚れが気になった際にお手入れを行ってください。
給排気レジスターを外した後、掃除機等でホコリを吸い取り、汚れをふきとってください。
- ※ 上記は LIXIL 製の給排気レジスターをご使用になる場合のお手入れ方法です。
他社製品をお使いの場合は該当商品の取り扱い方法に従って手入れをお願いいたします。
- 壁スイッチの運転ランプが点滅したとき (2 ヶ月毎) が、お手入れの時期になります。

〔お手入れのお知らせ〕

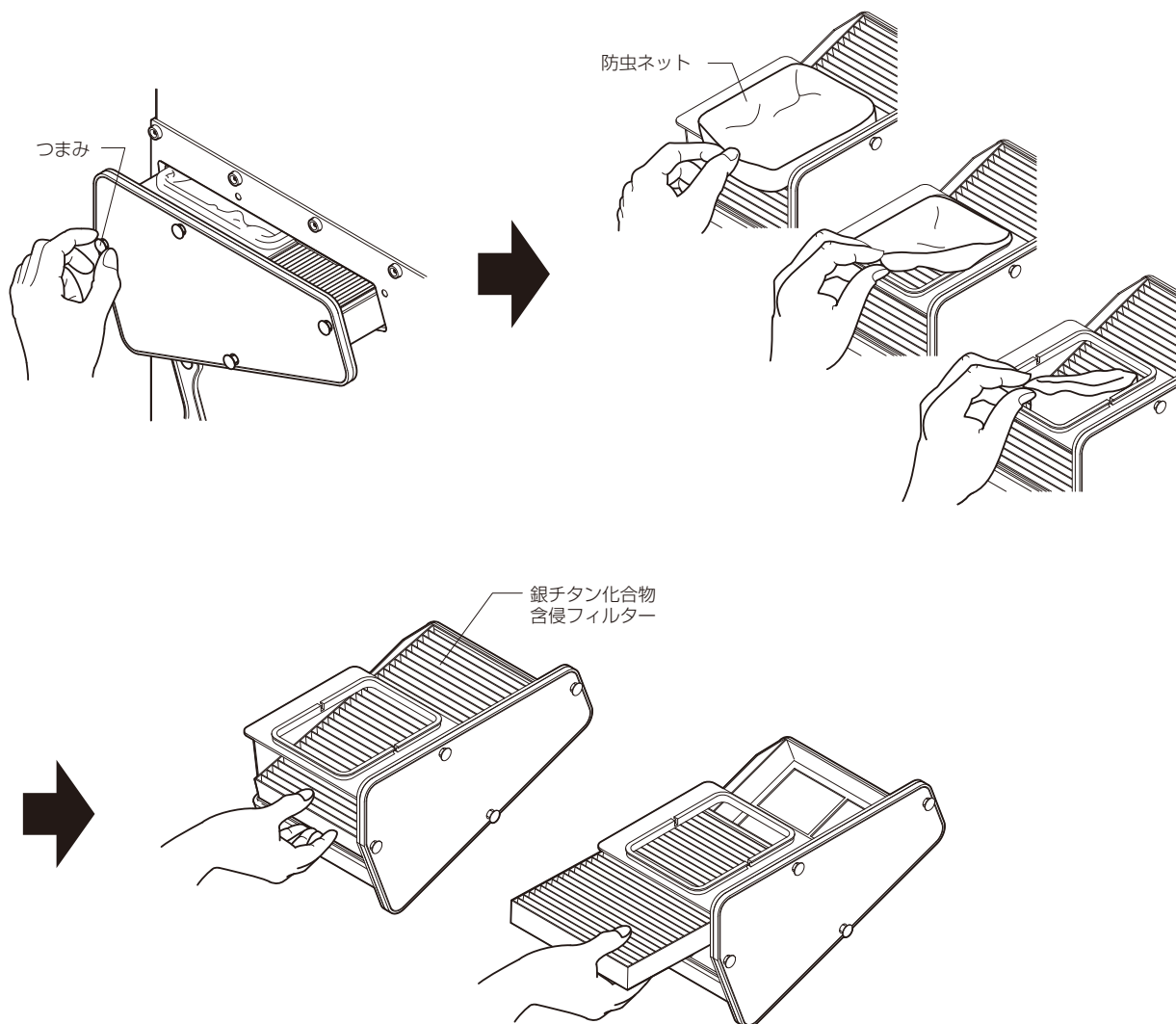
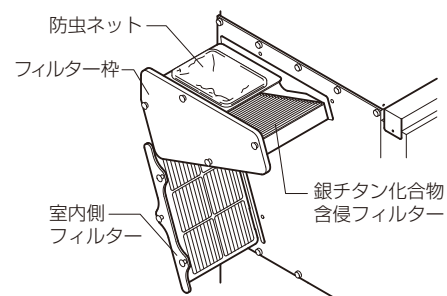


- お手入れは、壁スイッチまたは分電盤のブレーカーにより、運転を停止してから行ってください。
- ※ お手入れ時に電源線や壁スイッチ用の通信ケーブルに触れたり、引き抜いたりしないでください。
- お手入れの際は、しっかりした台を足場に使用し、ゴム手袋を着用して、ケガのないよう気を付けて作業してください。
- 濃霧などによりフィルターなどが一時的に湿ることがあります。フィルターが湿っている場合は、乾いたタオルで拭いてください。

1

フィルターなどの取外し方

- ①制御付換気ユニットが設置位置の点検口または収納扉をあげてください。
 - ②フィルター枠のつまみを引いて、フィルター枠をまっすぐ引き出してください。
 - ③フィルターを枠から、銀チタン化合物含侵フィルターと防虫ネットを取外してください。
- ※室内側フィルターは、フィルターとフィルター枠が一体となっているためフィルター取り外し作業はありません。



⚠ 注 意

●天井裏設置の場合：フィルター枠を引き出すとき、ホコリや虫などが落下することがありますので、目などに入らないよう注意してください。

お願い

※床下設置または床設置の場合：制御付換気ユニット本体の上に乗る、手をかけるなど、体重がかからないよう注意してください。制御付換気ユニットの故障につながるおそれがあります。

※気密性を高めるため、すき間の小さい設計としています。

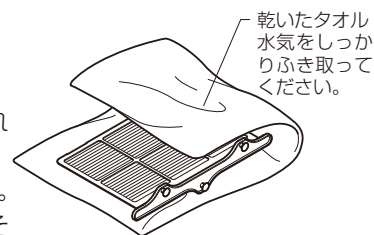
フィルターを出し入れする際は、破損・変形しないように注意してください。

2

フィルターなどの清掃

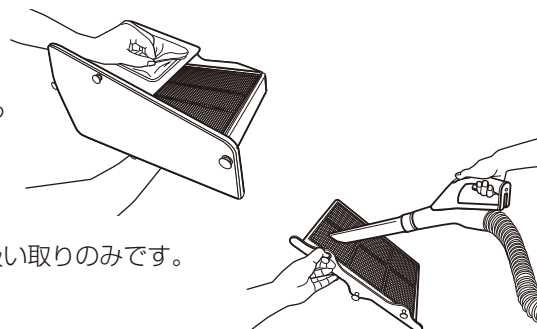
【RA(室内側)フィルターの場合】

- ①掃除機でフィルター両面のホコリを取り除いてください。
- ②水洗いが可能です。汚れが気になる場合は、弱い水流で洗い流してください。汚れが落ちない場合は、中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸して洗ってください。水洗い後、水切りを行い乾いたタオルで全体を包むようにして水気をふき取ります。
※水洗いは外気温度が 0℃以下の場合、凍結および結露し本体から水が滴下するおそれがありますので、水気をしっかりふき取ってください。



【防虫ネットの場合】

- ①防虫ネットの中のゴミを捨ててください。
- ②水洗いが可能です。室内側フィルターと同じ洗い方で洗ってください。



【銀チタン化合物含浸フィルターの場合】

銀チタン化合物含浸フィルターの清掃は、掃除機でのごみ吸い取りのみです。
(水洗い不可、2年に1度交換)

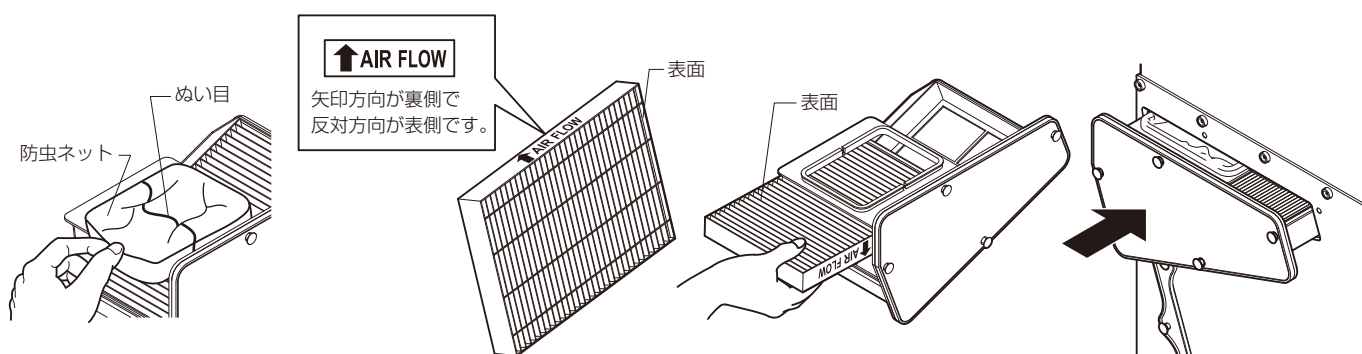
お願い

- フィルターには、無理に力を加えないでください。無理に力をかけると変形して元に戻らなくなり、ホコリや虫などを十分に取除けなくなります。

3

フィルターなどの取付け方

- ①銀チタン化合物含浸フィルターと防虫ネットをフィルター枠に戻し、フィルター枠を元の場所にまっすぐ奥までしっかり差込んでください。防虫ネットは、ぬい目が縦になるように戻してください。
銀チタン化合物含浸フィルターは、裏と表を確認し表面が見えるように戻してください。
- ②フィルターの清掃後は、運転が停止している状態で停止ボタンを長押し（約3秒）することで清掃期間がリセットされます。その後、換気ボタンを押すことで運転が再開され、新たに60日間（2ヶ月）のカウントがはじまります。
- ③運転を開始して異常音がしないか、部屋の給気レジスターから風が正常に出ているか確認してください。
※壁スイッチは、水をかけたり、ぬれた手で扱わないでください感電やショートするおそれがあります。



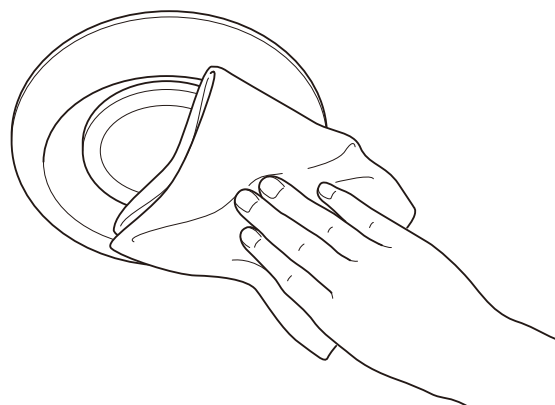
お手入れ上のお願い

- 外気温が低下した場合、製品に水滴がついたり滴下する場合がありますが故障ではありません。
製品に付着した水滴はふき取ってください。
- 気密性を高めるため、すき間の小さい設計としています。
フィルターを出し入れする際は、破損・変形しないように注意してください。

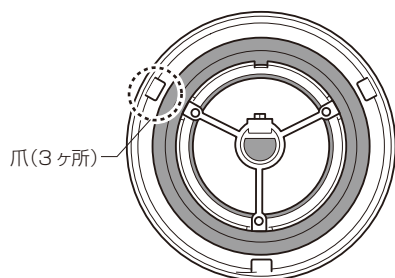
4

給排気レジスター(LIXIL製)のお手入れの仕方

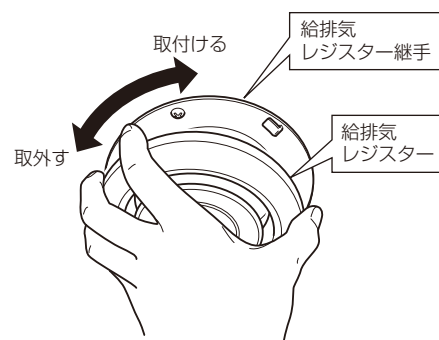
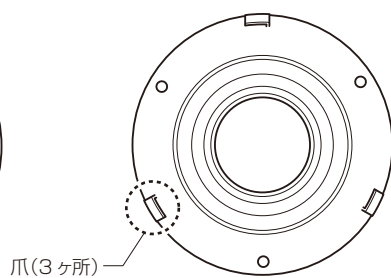
汚れが気になられた場合は、ぬるま湯に浸した布を絞って、表面の汚れをふき取ってください。
レジスターの内部の汚れが気になる場合は、下記の取り外しでのお手入れの方法をご確認いただき実施してください。



＜給排気レジスター＞



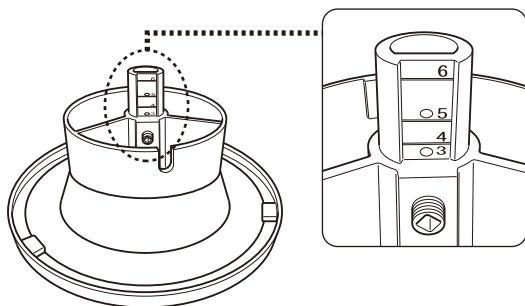
＜給排気レジスター継手＞



【取外し方法】

左回り(時計と反対回り)回転させて、爪の嵌合が外れると抜けます。

※レジスター内に付けてある黒いパッキンがボロボロになることがございますが、機能性等に影響がございませんので、問題なくご使用いただけます。

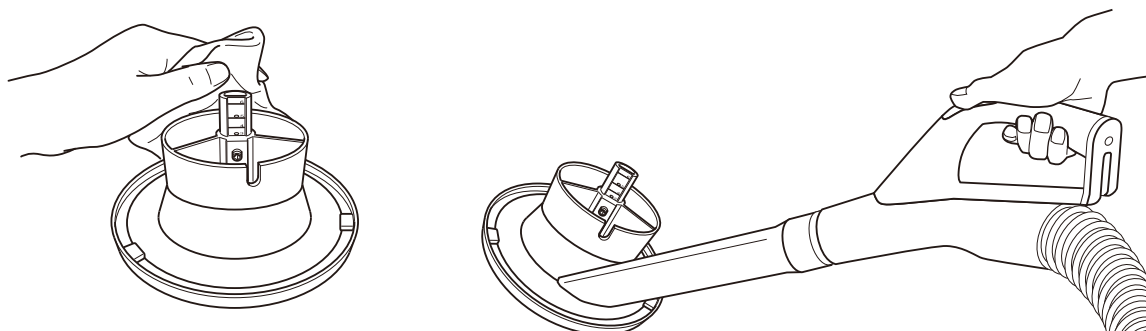


計画通りの換気を行うため、各レジスターの風量の目盛りが決められております。
風量の過不足が発生する可能性があるため、こちらの位置は変更しないようにしてください。

5

取り外した給排気レジスターのお手入れ

給排気レジスターを取外した後、掃除機等でホコリを吸い取り、汚れはぬるま湯に浸した布をしぼって拭いてください。清掃終了後、給排気レジスターを取付けてください。

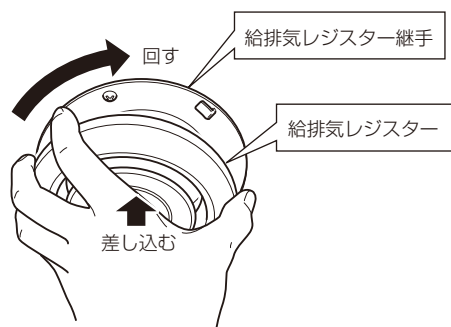


6

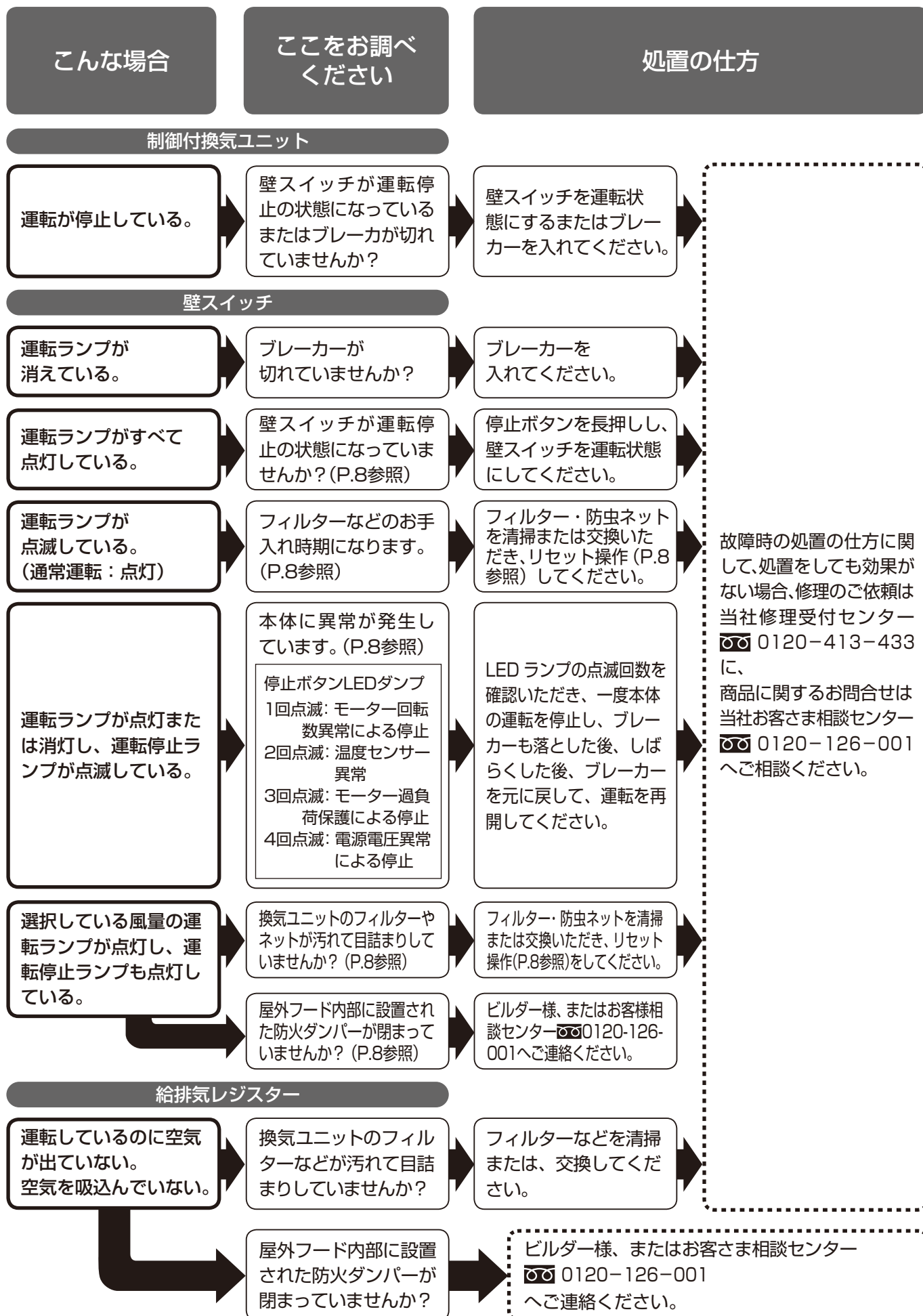
給排気レジスターの取付け方

【給排気レジスターの場合】

給排気レジスター継手に、給排気レジスターを差し込み、時計（右）回りにカチッと音がするまで回してはめ込みます。



故障時の処置



アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認ください。それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
- ※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥ LIXIL 修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXIL オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・ お求めの取扱い店
- ・ 製品に表示している連絡先
- ・ LIXIL 修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含みます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。電装系部品については製造打ち切り後 7 年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後 2 年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL オフィシャルサイトよりご注文いただけます。

- LIXIL PARTS SHOP <https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001 にご連絡ください。

保証書

BRK.NO

- 1.保証者…………… 株式会社LIXIL
2.保証の対象者…………… 住宅の所有者
3.保証内容…………… 取扱い説明書・本体ラベルなどの注意書きに示されている通りの正常な使用状態で故障した場合、本書により保証いたします。

保証期間		対象品
本体・他主要商品	1年	商品)・制御付き換気ユニット ・壁スイッチ ・給排気レジスター ・給排気フード (防火ダンパー付の場合、温度ヒューズを含む) ・ダクト 制御付き換気ユニット、壁スイッチ以外の部材は、他社製品を使用されている場合は対象外となります。

- 4.免責内容…………… 保証期間内でも次の場合には有料になります。
- a) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・異常電圧・その他の外部要因による故障・損傷および機能低下。
 - b) 当社が認めていない改造、不当な修理、調整による故障・損傷および機能低下。
 - c) 高温空気・炎・腐食物質の吸収による故障・損傷および機能低下。
 - d) 故障の原因が本システム以外の部分にあって、それを点検・修理した場合。
 - e) その他、当社の責に帰さない理由により生じた故障・損傷および機能低下。

- 5.保証の起点…………… 施工完了日

西 暦
年 月 日より

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001 FAX. 03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAP-408B	事業所コード TBZ8	2021.08.01発行
---------------	-------------	--------------

